

第32回全国選抜高校テニス大会
出場校一覧(男子)

地区	県名	出場申し込み校	
北海道	北海道	①札幌日大【11回目/6年連続】 ②札幌藻岩【30回目/21年連続】 ③市立函館【2回目/3年ぶり】	
東北	青森		
	岩手	③岩手【10回目/5年連続】	
	宮城	②東北学院【2回目/14年ぶり】	
	秋田		
	山形		
関東	福島	①磐城【7回目/2年連続】	
	茨城	⑨霞ヶ浦【5回目/2年連続】	
	栃木	⑦足利工大付【13回目/12年連続】	
	群馬		
	埼玉	③秀明英光【4回目/3年連続】	
	千葉	①東京学館浦安【9回目/7年連続】 ④秀明八千代【2回目/2年連続】	
	東京	⑤早実【14回目/2年ぶり】 ⑥東海大菅生【10回目/10年連続】	
	神奈川	②湘南工大付【22回目/6年連続】 ⑧法政二【11回目/9年連続】	
北信越	山梨	※⑩甲府一【3回目/7年ぶり】	
	新潟		
	富山	④富山中部【2回目/11年ぶり】	
	石川	③金沢伏見【2回目/2年ぶり】	
	福井	①北陸【3回目/3年ぶり】	
東海	長野	②松商学園【17回目/12年連続】	
	静岡	④日大三島【20回目/3年連続】	
	愛知	①名古屋【22回目/17年連続】 ③名経大市邨【5回目/5年連続】	
	岐阜		
近畿	三重	②四日市工【29回目/7年連続】 ⑤鈴鹿【3回目/2年ぶり】	
	滋賀	④光泉【4回目/2年連続】	
	京都	③東山【19回目/7年連続】 ※⑧立命館宇治【4回目/3年連続】	
	大阪	②清風【32回目/32年連続】 ⑦近大付【8回目/14年ぶり】	
	兵庫	①相生学院【初出場】 ⑤関西学院【13回目/9年連続】	
	奈良		
中国	和歌山	⑥慶風【初出場】	
	鳥取		
	島根	③開星【2回目/2年連続】	
	岡山	①関西【29回目/10年連続】 ②岡山学芸館【5回目/2年連続】	
四国	広島	④修道【16回目/4年連続】	
	山口		
	徳島	②城南【4回目/4年連続】	
	香川	③高松北【17回目/7年連続】	
九州	愛媛	①新田【14回目/2年連続】	
	高知	※④高知【9回目/5年ぶり】	
	福岡	①柳川【31回目/2年ぶり】 ④折尾愛真【2回目/2年連続】	
	佐賀		
	長崎	③海星【17回目/4年連続】	
	熊本		
	大分	②大分舞鶴【10回目/4年連続】	
	宮崎	⑥佐土原【13回目/2年連続】	
鹿児島	⑤鳳凰【10回目/8年連続】		
沖縄	※⑧沖縄尚学【3回目/3年ぶり】		
補欠校	静岡市立	出場校合計	計 48 校

○内の数字は地区大会順位

シード校	東京学館浦安、湘南工大付、名古屋、柳川
選手宣誓校	沖縄尚学

第32回全国選抜高校テニス大会
出場校一覧(女子)

地区	県名	出場申し込み校
北海道	北海道	①札幌清田【28回目/2年連続】 ②札幌日大【8回目/8年連続】
東北	青森	
	岩手	
	宮城	
	秋田	③聖霊女短大付【14回目/7年連続】
	山形	②山形西【初出場】
	福島	①日大東北【初出場】 ※④福島東【初出場】
関東	茨城	
	栃木	⑧作新学院【14回目/2年連続】
	群馬	
	埼玉	④山村学園【2回目/2年連続】
	千葉	②秀明八千代【2回目/2年連続】 ⑦東京学館【10回目/3年連続】
	東京	①富士見丘【17回目/4年連続】 ⑤早実【5回目/5年連続】
	神奈川	③湘南工大付【15回目/2年ぶり】 ⑥東海大相模【26回目/3年連続】
	山梨	
北信越	新潟	②長岡大手【5回目/4年連続】
	富山	④富山国際大付【17回目/4年連続】
	石川	⑤星稜【24回目/6年連続】
	福井	①仁愛女【30回目/30年連続】 ⑥北陸【初出場】
	長野	③松商学園【18回目/16年連続】 ※⑦中野西【初出場】
東海	静岡	③静岡市立【18回目/4年連続】
	愛知	①名経大市邨(市邨学園改)【5回目/10年ぶり】 ④名経大高蔵【26回目/3年連続】
	岐阜	②岐阜商【18回目/5年連続】
	三重	⑤四日市商【11回目/8年連続】
近畿	滋賀	⑥栗東【12回目/2年ぶり】
	京都	③京都外大西【2回目/2年連続】 ④立命館宇治【4回目/2年ぶり】
	大阪	⑤大商学園【初出場】
	兵庫	①園田学園【31回目/31年連続】 ②夙川学院【26回目/3年ぶり】
	奈良	⑦平城【7回目/2年ぶり】
		和歌山
中国	鳥取	
	島根	※④開星【3回目/2年ぶり】
	岡山	①岡山学芸館【9回目/6年連続】 ②山陽女【28回目/5年ぶり】
	広島	③美鈴が丘【10回目/9年連続】
	山口	
四国	徳島	①徳島市立【10回目/2年連続】 ②徳島商【3回目/2年ぶり】
	香川	③英明【2回目/2年連続】
	愛媛	
	高知	
九州	福岡	②柳川【32回目/32年連続】 ⑤折尾愛真【10回目/2年ぶり】
	佐賀	
	長崎	
	熊本	※⑧熊本工【初出場】
	大分	④福德学院【4回目/2年連続】
	宮崎	①宮崎商【9回目/9年連続】
	鹿児島	③鹿児島純心女【14回目/7年連続】 ⑥鳳凰【17回目/15年連続】
	沖縄	⑦沖縄尚学【初出場】
補欠校	高松北	出場校合計 計 48 校

○内の数字は地区大会順位

シード校	富士見丘、秀明八千代、仁愛女、園田学園
選手宣誓校	沖縄尚学

**第32回全国選抜高校テニス大会
選考委員会検討枠出場校の選考理由**

	校名	都道府県	出場回数	選考理由
男子	甲府一	山梨	3	山梨県内の進学校。関東地区の中では勝ち抜くのが難しいが、監督選手が一体となり練習に励んでいる。学校での活動をメインに文武とも上を目指してがんばっている。
	立命館宇治	京都	4	経験豊富な外国人指導者のもと、文武両道を目指してがんばっている。テニスの推薦で入学してくる選手はいない中、頭を使ったプレー、時間の制約をつけてメリハリの利いた練習で成果を上げており、他校の手本となる。
	高知	高知	9	挨拶や礼儀を大切にしている顧問の指導が行き届いており、他の模範となるチームである。今年はテニス部創部50周年の節目となる年であり、上記の高校テニスの基本でもあることを長年大切にしてきた活動は評価できる。
	沖縄尚学	沖縄	3	他競技も含めスポーツの盛んな高校である。全員が学校の部活動のみで活動。精神の鍛錬にも重きを置いている。100回を迎える沖縄インターハイの開催地であり代表チームとしての話題性、地元の盛り上がりも期待できる。
女子	福島東	福島	初	全校生徒の多くが国公立大学への進学を希望している進学校。テニス初心者がほとんどでありながら、文武両道を実践し結果を残した。
	中野西	長野	初	全国大会出場の経験がなく、テニスの強化が厳しい地域にありながら学校テニス(部活動)で実力をつけてきた。部員1人1人の目的意識が非常に強く、周囲の評価も高い。
	開星	島根	3	中国地域の中でもテニスの環境が厳しい中、4位に食い込んだ。部員数が少なく、さらに雨や雪で日照時間が少ない環境の中、時には廊下や軒下を利用するなど、工夫した練習で成果を上げた。
	熊本工	熊本	初	昭和54年創部。男子が活動の中心であったが、近年初心者中心の女子チームも練習に一生懸命に取り組んでおり、全国大会にも手が届くまでになった。7人という少ない部員1人1人が自覚を持ちチーム力がついてきた。

